

墨田区のお知らせ2013.12.1

NO.1730
(毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2・3面…身近にある大切な人権を知ろう!守ろう!
- 4・5面…平成25年秋の褒章・叙勲
- 6面…すこやかライフ
- 7～8面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●木守り

木守りとは、実も葉も落ち尽くす果樹の枝に、一つ二つ残しておく実のことで、翌年の豊作を祈るとも、鳥や旅人へのお裾分けともいわれている。“厳しい冬への畏敬の念”や“春に対する願い”のような思いを感じられる木守りを、この冬、すみだで探してみませんか。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

笑顔が輝く未来を築くため 人権を大切にしましょう

人権とは、「人間が人間らしく生きるための権利であり、誰もが生まれながらに等しく持つ権利」のことです。この大切な人権が尊重される未来をめざし、区では、「墨田区人権啓発基本計画」に基づいた様々な施策を展開しています。12月4日(水)～10日(火)の「人権週間」をきっかけに、あなたも、人権を“正しく知る”ことから始めてみましょう。

誰もがいきいきと輝く 人権を大切にできる社会

すべての人は、自分らしく、幸せに生きる権利を持っています。日本国憲法では、自由に考え発言できる権利、好きな職業を選ぶことができる権利、学問を修めることができる権利といった基本的人権が保障されています。一方、国外では、宗教の違いや紛争などで、これらの権利が認められていない国があります。

私たちは家庭や地域、職場、学校などで多くの人と関わり合いをもって生きています。その中で、人権は守られるべき大切な権利ですが、現実には、いじめや虐待、差別的行為、ハラスメントなど、人が人を傷つける、偏見を持つ、差別をするといった、人権を侵害するような行為が起っています。

人に対する偏見や差別は、根拠のない間違った先入観や無知などから生まれるものです。偏見や差別をな



くし、人権を尊重する社会を実現させるためには、まず、人権について“正しく知る”ことが大切です。一人ひとりが差別を“しない”、“させない”、“許さない”ということを中心に

け、お互いを思いやり、人権を尊重する社会をみんなで築いていきましょう。

【問合せ】人権同和・男女共同参画課
人権同和担当 ☎5608-6322

■「墨田区人権啓発基本計画」に基づく取組

人権啓発冊子「人権感覚」 男女共同参画情報誌「にじ」

人権や男女共同参画について考えていただくきっかけとなるよう、様々な人権問題を紹介する人権啓発冊子「人権感覚」と、男女共同参画に関する情報や区の実情などを紹介する男女共同参画情報誌「にじ」を作成し、無料で配布しています。

【配布場所】人権同和・男女共同参画課(区役所12階)、社会福祉会館(東墨田2-7-1)、すみだ女性センター(押上2-12-7-111)ほか



人権の花運動

みんなで力を合わせて花を育てることで、協力することや感謝することの大切さを学び、思いやりの心を身に付ける「人権の花運動」に、区内の小学校の子どもたちが毎年取り組んでいます。



中学生人権作文コンテスト 子どもたちの人権メッセージ

法務局等では、人権問題に関する作文を書くことで、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として「中学生人権作文コンテスト」を実施しています。また、小学校4年生～6年生が人権について経験したことや感じたことを自分の言葉で表現する「子どもたちの人権メッセージ発表会」を、23区が交代で実施しています。なお、今年度の「子どもたちの人権メッセージ発表会」は墨田区で開催され、2人の児童が発表しました。



今年度の「子どもたちの人権メッセージ発表会」で朗読した

曳舟小学校6年 遠藤 翠さん

人権は大切に守られなきゃいけないのに、守られていないことがあると思います。こう感じたのは、いじめで人を傷つけるような発言を聞いたことがあるからです。

私は耳に障害をもって、人権が守られていないと感じた経験があったので、ほかの人の立場でも人権について考えることが自然にできました。これからも、いろんな立場の人の気持ちを考え、差別をせず、誰にでも公平に接していきたいです。

遠藤さんが朗読した子どもたちの人権メッセージ「障害者の人権」

駅のホームや歩いている道に、さまざまな障害者がいます。(中略)

私自身が耳に障害をもっているのです、じろじろ見られると、とてもいやな気分になります。障害のある人は、障害をもって生まれたいと思って生まれたわけではないので、じろじろ見られるととてもみじめな気持ちになります。

障害は、自分の特ちょうだと思っています。障害があってもなくても人それぞれ特ちょうがあるのに、障害のある人を差別するのは、ひ

どいことだと思っています。

私は、補聴器を持っているのを、自分だけのアクセサリだと思っています。白杖なども同じだと思っています。(中略)

障害者といっても、みんな同じ人間です。なので、できないことは、助けてあげようと思います。じろじろ見たりしないようにしたいと思っています。障害者の人権をうばわないようにしたいと思います。みんなが、認め合って、助け合う社会になるといいと思います。